

日本共産党杉並区議会議員

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2012.5.10 No.70

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>

## 42年ぶり、原発稼働ゼロを祝いパレード 5. 6 脱原発杉並デモ 4000人が参加!



悪天候にも負けず、元気にパレード(上)  
デモ前の集会の様子(左)

### 突然の豪雨・雷・雹にも負けず 蚕糸の森から高円寺駅へ行進

ゴールデンウィークの最終日となった五月六日、原発稼働ゼロを記念して脱原発杉並デモが行われ、約四〇〇〇人の参加者が区内を行進しました。

デモ開始直後に嵐のような大雨と雷、さらには五ミリ大の雹(ひょう)が降りましたが、デモ参加者は悪天候にも負けず、笑顔でデモを続け、蚕糸の森公園から高円寺駅を通り、高円寺中央公園へのコースを練り歩きました。



デモ参加者は、思い思いの格好でアピール。大変賑やかなパレードに(上・右)



### 脱原発運動の成果 再稼働を許さない世論を!

前日の五日、泊原発が定期点検で停止したことで、四十二年ぶりに日本国内で稼働する原発がゼロになりました。

原発の利権構造が温存され、電力会社や政府は原発の再稼働を強引に進めようとするなかで、日本の全原発が停止する状態をつくりだしたのは、全国の脱原発運動の成果です。

今回の脱原発杉並デモは、その成果を噛みしめ、町にアピールし、再稼働を許さない意思表示として計画されました。

今後、さらに世論に働きかけ、原発をゼロにする運動を盛り上げていくことが必要です。

## 第4回 外環の2地上部街路話し合いの会 開催

# 外環の2地上部街路の必要性ばかりを強調… 都の姿勢は問題

特定地域だけを抽出し、出火危険度を示すマップ



参加者から批判の声が出た。議事運営にも大きな問題

五月九日、第四回「外環の2地上部街路に関する話し合いの会」が開催されました。吉田信夫都議、くすやま・金子・山田の地上部街路計画沿線地域を担当する区議、上保まさたけ衆議院東京八区予定候補が傍聴に参加しました。

話し合いの会では、相変わらず、地上部街路の必要性ばかりを強調する都側の姿勢が目立ち、会の構成員からは批判の声が相次ぎました。都の提出資料「杉並地域に関する現状・課題データ集」についても、「地上部街路の必要性を刷りこむ意図がある」「使用しているデータが古い、客観性が無い」「杉並区内で見れば、出火危険度がより高い地域は多くあるのに、計画周辺地域だけを抽出して延焼遮断帯（幹線道路）の必要性を強調するのはおかしい」などの厳しい意見が寄せられました。

各構成員の提出資料についても、適切な発言時間が確保されておらず、十分な討議が尽くせない状態になっています。

これまで4回開催されてきた会の運営全体を通して、様々な問題が発生しています。住民の意見をしっかりと汲み取れるよう、話し合いの会の運営そのものを見直す必要があります。

## 育メン日誌

### ゴールデンウィークを満喫&体力回復

今年のゴールデンウィークは、一日だけですが、長野に旅行してきました。長野は桜が満開で、大変過ごしやすい陽気でした。

息子も大はしゃぎで、お花見や温泉を楽しんでいました。

私もゆっくりとした時間を過ごし、体力も満タンに！さあ、次の議会も頑張るぞ！



葉っぱを拾っては、母親の髪にくっつける息子（左）  
髪飾りのつもりなのか…？  
妻の頭は、葉っぱまみれに（笑）

おもちゃ屋にも寄り、車型の台車に大興奮（右）。私の運転を見る機会が多いからか、ハンドルをグルグル回し、終始ノリノリでした。

帰る際には、台車を持って帰ろうと頑張るので、閉口してしまいました（笑）



## 原発を問い直す機会に！

～5月 お勧めの公演です～

### 青年劇場 臨界幻想 2011

第106回公演

畏れを忘れた日本人へ  
原発を問い曖昧な現実を疑えたかがお湯を沸かすためだけに、どうして核分裂を起こさせる必要があるのだろうか

「近未来」と時を設定して初演されてから30年。起きてしまった福島原発の事故。青年劇場とふじたあさや氏が痛恨の思いを込め、2011年版で、これからを問うぜひ、ご観劇ください。



■5月18日（金）～27日（日）

■紀伊国屋サザンシアター

■入場料 一般 8500円 U30 5000円

■お問い合わせ

青年劇場チケットサービス

TEL 03-3352-7200